

滝沢市農業委員会委員の候補者の推薦又は応募の状況一覧(令和8年2月27日現在)

1・推薦を受けた者の数 9名

・そのうちの認定農業者または認定農業者に準ずる者の数 8名

【推薦の状況】

番号	農業委員会委員の推薦を受ける者								農業委員会委員の推薦をする者の名称等及び推薦理由				
	氏名	年齢 (2/27時点)	性別	職業	農業団体、その他組織等の役職歴 (主なもの)	農業経営の状況	認定農業者 または 準ずる者	農地利用最適化 推進委員への推 薦または応募の	推薦を受けての抱負	推薦者名/組織名	活動の主たる目的	構成員数	推薦理由
1	新田 義修	54	男	大学教員	滝沢市農業委員会委員 岩手県開発審査会会長 岩手県環境保全型農業直接支払制度 推進委員会委員長 農地中間理事業評価委員会委員長 岩手県農業研究センター機関評価委員	-	×	無	滝沢市農業委員会農業委員を平成26年より拝命し職務に従事して参りました。これまで農地利用の適正化や地域農業の課題整理に加え、委員会における研修会・総会等の場において、情報提供および政策提案を行ってまいりました。このたび、滝沢市農業委員会委員に農業委員会会長職務代理者太田豊様よりご推薦を賜りましたことは、大変光栄であり、深く感謝申し上げます。今後も特定の利害に偏らない中立的な立場を堅持し、現場の実情と制度運用の両面を踏まえた意見形成に努めてまいります。とりわけ、都市近郊地域としての特性を踏まえ、地域農業の発展に資する提案へとつなげてまいります。	農業 太田 豊 (76歳) 男性	—	—	被推薦者は、農業者ではないが、日本における農業全般、農業行政等に関する見識を有し、農業委員会の所掌する事項に関し、これまでも農業委員としてその職務を適切に行ってきた。また、農業委員会が主催する各種研修会や意見交換会などにおいても中心的な役割を担い、参加者はもとより農業委員の資質向上にも多大な貢献をしていただいている。新規就農者のフォローについても、動画を作成し委員全員で共有するなど、効果的で効果的な活動方法を提案・実践している。滝沢市農業委員の改選にあたり、被推薦者は中立委員として重要な存在であり、期待する役割を十分に担ってくれるものと考え、推薦するものである。
2	佐藤 恵一郎	70	男	農業	滝沢市農業委員会委員 岩手県農業共済組合共済部長及び損害評価員 一般社団法人アグリサポートおおさ輪代表理事	水稲 大豆 耕作面積 775a	○	無	農業従事者の減少と高齢化社会を迎えた昨今、地域全体で「地域資源を守る」・「地域資源を活用する」仕組みづくりが急務となっています。そこで地域農業振興の為、微力ながら皆様のご指導を賜り努力してまいります。	農業 佐藤 清光 (90歳) 男性	—	—	積極的に地域活動に参加し、農地集積事業や一般社団法人設立等、過去六年間の活動実績を鑑み、今後、より一層地域振興に貢献してくれるものと期待する。
3	吉清水 秀明	70	男	農業	滝沢市農業委員会委員 小岩井農家組合副組合長 小岩井地域資源保全組合会計 新岩手農業協同組合理事	水稲 露地野菜 耕作面積 700a	○	無	農業委員を3期9年間させていただきました。この期間の初めの1年は、あまり農業委員会で行っていることの本質がよく理解できていなく、ただただ先輩の委員さんについて行くような活動でしたが、2年目からはある程度の農業委員会と言う所の本質が解って来た様に思い、積極的に活動してきました。この活動を更に続けて、滝沢市の農業のより良い振興に寄与したいと思っております。	小岩井農家組合 組合長 齊藤 祐一	小岩井地区の農業についての活動	24	小岩井地区において「小岩井農家組合の副組合長」および「小岩井地域資源組合の会計」の役職を行っています。又、組合活動においても積極的に参加しています。認定農業者としても、まじめに農業活動を行っています。
4	高橋 敏彦	69	男	農業	滝沢市農業委員会委員 鶴飼水稲生産組合事務局 下鶴飼地域資源保全組合事務局 一般社団法人うかい結ファーム理事	水稲 露地野菜 耕作面積252a	○	無	推薦を頂き、農業委員として滝沢市並びに地域の農業発展の為に、関係機関と連携をこれまで以上に堅固なものとしていく為に尽力したいと考えています。また、農業委員として、2期6年間務めさせて頂く中で、1期目は先輩方の後姿をおいかけ、2期目は農地・農政各小委員会の委員長、並びに岩手県農業会議研修会の事例発表者など貴重な経験を積ませて頂きました。これまで積み重ねた経験を、農業委員会活動に活かしていきたいと考えています。	下鶴飼農家組合 組合長 工藤 哲	住民相互の営農、生活並びに教育・文化の向上を図る事を目的とする組織	51	耕作面積の拡大を図りつつ地域の農業の活動に積極的に取り組んでいる。現在、自営の農業に励む傍ら、下鶴飼地区の生産組合・保全組合の事務局並びに、鶴飼地区の担い手法人の理事として、地域を支える役割を担っています。農業に関する地域課題の解決に向けて真摯に向き合い、粘り強く努力する姿勢は推薦に値する。

【推薦の状況】

番号	農業委員会委員の推薦を受ける者								農業委員会委員の推薦をする者の名称等及び推薦理由				
	氏名	年齢 (2/27時点)	性別	職業	農業団体、その他組織等の役職歴 (主なもの)	農業経営の状況	認定農業 者または 準ずる者	農地利用最適化 推進委員への推 薦または応募の	推薦を受けての抱負	推薦者名/組織名	活動の主たる目的	構成員数	推薦理由
5	駿河 信一	71	男	農業	滝沢市農業委員会委員 牧野林産直出荷組合組合長 滝沢市認定農業者協議会会長 (元)滝沢市農地利用最適化推進 委員	水稲 施設野菜 耕作面積 700a	○	無	今回までの経験を活かし貢献 していきたい。農地の維持管理、 農業振興に努めたい。他機関 へ農業情勢への理解を要請し ていく。地区法人等の組織強化 に向け助言していく。	牧野林農家組合 顧問 太田 紀男	地域農業の振興にか かわる活動	50	専業農家であり、水稲、施設野菜等広く 作付されている。 地域では、水稲の作業委託を広く行っ ている。 牧野林産直出荷組合組合長、滝沢市 農地利用最適化推進委員等活動し、地 域農業の実情に精通しており信頼も厚く 適任と考え、推せん致します。
6	主演 学	70	男	農業	篠木中通り農家組合組合長 滝沢市農業委員会委員 農事組合法人しのご協同舎代表理事	水稲 大豆(麦) 耕作面積 690a	○	無	地域農業は、一部の担い手、大 規模農家だけでは維持できな い。農家の高齢化、後継者不足 が加速度的に進む中で集落営 農の再生と農業人口の確保を 目指しながら、農地の維持・確 保に努力したい。	篠木地域資源保全組合 組合長 齊藤 新一	農村地域活動	128	現在までの農業委員会等の経験を生か し活動をお願いしたい。
7	勝田 徹	58	男	農業	滝沢市農業委員会委員	水稲 耕作面積 700a	○	無	地域の農地保全・管理に努めて いきたい。	大釜地域資源保全組合 組合長 武田 修	地域内に存する水路、 農道及び農地等の資 源保全を図る事。	145	R5年7月から現在まで農業委員を務め ており、地域の農業情勢に精通しており 適任である。 R8年2月21日、大釜地区コミュニティセ ンターに於いて沼袋・仁沢瀬地区と大釜 地区の両地域資源保全組合の役員が集 まって推薦会議を行い両保全組合の総 意で決定し大釜地域資源保全組合が代 表して届け出るものです。
8	熊谷 喜彦	42	男	農業	(元)たきざわグリーンワークス 会長 滝沢市農業委員会委員 川前・巣子地区農地利用協議会会計・ 書記	露地野菜 施設野菜 耕作面積 664a	○	無	これまで作物の生産に携わり、 現場の厳しさと喜びを肌で感じ てきました。現場の切実な声を しっかりと行政や委員会に届 け、農地利用の最適化と次世代 の担い手が希望を持てるよう、 微力ながら精一杯委員として与 えられた職責を果たし、滝沢市 の農業発展の為尽力していきたい と思います。	公立大学教員 新田 義修(54歳) 男性	—	—	熊谷喜彦氏は、果樹経営において盛岡 市の中核的な経営体の子息として広く知 られ、地域農業を支えてきた実績を有す る人物である。さらに他産業での従事経 験を経て、滝沢市で長ネギをはじめとす る露地野菜・施設野菜に取り組み、環境 の変化を成長につなげながら成果を重ね てこられた。生産の実態と経営の重みを 踏まえ、地域の未来を見据えて行動する 歩みは、いま求められる担い手像そのも のである。 また、滝沢市の若手農業者組織「たき ざわグリーンワークス」の一員として、生 産に加え販売・連携の実務経験を蓄積 し、会長として地域農業をけん引してこ られた。これに加えて農業委員を1期務め、 地域の声を丁寧に受け止めつつ、合意 形成と次世代の農業委員会活動を支え るにふさわしい人材であると確信する。 滝沢市農業委員会の改選にあたり、熊 谷喜彦氏を農業委員に推薦することは、 滝沢市のみならず岩手県の農業委員会 活動の質向上に資する重要な選択であ る。熊谷氏が地域の声を束ね、農業と担 い手を未来へつなぐ推進力となり、滝沢 市農業の新たな展望を切り拓かれること を期待し、ここに推薦する。

【推薦の状況】

番号	農業委員会委員の推薦を受ける者								農業委員会委員の推薦をする者の名称等及び推薦理由				
	氏名	年齢 (2/27時点)	性別	職業	農業団体、その他組織等の役職歴 (主なもの)	農業経営の状況	認定農業 者または 準ずる者	農地利用最適化 推進委員への推 薦または応募の	推薦を受けての抱負	推薦者名/組織名	活動の主たる目的	構成員数	推薦理由
9	齋藤 昌浩	35	男	農業	岩手花平農業協同組合監事	酪農 耕作面積 2,500a	○	無	何事も勉強させていただきながら、知識と経験を積み上げて務めさせて頂きたいと思っております。	岩手花平農業協同組合 代表理事組合長 坏 幸一	構成員の農業経営の 発展及び地域農業の 振興に関わる活動	42	齋藤昌浩さんは、20代前半より酪農経営を引き継ぎ地域でも中心となる経営を行っております。夫婦で家族を大切に思い、牛を大事に扱う経営理念は酪農家の家族経営の理想の姿であると思われま す。 またいろいろな事に挑戦しながら、農協役員や地域での委員や活動も行っており、地域において中心的な役割を果たしております。 このような事から、農業委員として、農業における後継者問題や農地問題などに、親身になって取り組んでいただける方ですので推薦いたします。